

2026年7月27日

各 位

株式会社 紀陽銀行

子会社設立について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、本日開催の取締役会において、当行が100%出資する投資助言子会社の設立を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 設立の経緯・目的

当行は、銀行業務の枠を超えた事業領域の拡大ならびに、中長期的な収益ドライバーの創出を目的に、2024年4月より経営企画部内に「未来創造室」を設置し、新規事業創出を通じて「挑戦する組織風土」の醸成に向けて取り組んでおります。

このたび、全行員および関連会社社員を対象に新規事業アイデアを募集する「行内起業プロジェクト」において最優秀賞を受賞した事業案について、事業起案者を代表取締役とする投資助言会社を設立いたします。

紀陽銀行は、お客さまの中長期的な資産形成を支援するとともに、金融リテラシーの向上に貢献し、金融市場の健全な発展に寄与してまいります。

※行内起業プロジェクトの詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

2. 設立する子会社の概要

名 称	紀陽みらい投資株式会社
所 在 地	和歌山県和歌山市黒田185-3（Key Site 4階）
代 表 者	代表取締役社長 原田 卓生
事 業 内 容	投資助言業
資 本 金	100百万円
株 主 ／ 出 資 比 率	株式会社紀陽銀行／100%
設 立	2026年8月（予定）
営 業 開 始 日	関係当局への登録・届出等完了後

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール4「質の高い教育をみんなに」、ゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」につながる取り組みです。



2025年9月3日

各位

株式会社 紀陽銀行

行内起業プロジェクトの実施について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、創立130周年記念事業の一環として全行員および関連会社社員を対象に新事業アイデアを募集する「行内起業プロジェクト ～挑もう。未来へ～（以下、本プロジェクト）」を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

紀陽銀行は、地域が抱える課題解決に挑戦し、新たな価値の創造を通じて、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

記**1. 趣旨**

銀行業務の枠を超えた事業領域の拡大ならびに、当行グループの中長期目線での新たな収益ドライバーの創出をめざして、2024年4月、経営企画部内に「未来創造室」を新設いたしました。

未来創造室は、新規事業創出を通じて「挑戦する組織風土」を醸成し、行員のモチベーション向上と企業文化の活性化に向け取り組んでいます。

本プロジェクトは、当行において初めての取り組みとなりますが、役職問わず、本部・営業店・関連会社から多種多様な新規事業アイデアの応募がありました。1次・2次選考を経て、4組の応募者が最終選考に進み、頭取をはじめとする経営陣に向けて事業案のプレゼンテーションをおこないました。

2. 概要

名 称	行内起業プロジェクト ～ 挑もう。未来へ ～
内 容	収益性を意識した当行グループの新事業アイデアの募集と選考
実施期間	2024年12月16日～2025年8月28日
募集対象	全行員（関連会社含む）
応 募	62件
選 考	・ 1次選考：書類審査 ・ 2次選考：WEBによるプレゼンテーション ・ 最終選考：経営陣を審査員とした対面プレゼンテーション 最終選考にあたり、2次選考通過者は3ヵ月にわたり所属部店と未来創造室を兼業し、事業案の事業化検証を行いました。
事 務 局	経営企画部 未来創造室

3. 最終選考の結果について

最優秀賞に選定された事業案につきましては、事業化に向けた検討を継続してまいります。

4. 最終選考の様子



前列：行内起業プロジェクト最終選考参加メンバー

後列（左から）：取締役専務執行役員 丸岡 範夫、取締役頭取 原口 裕之、執行役員 木下 卓夫

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも 経済成長も」ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」につながる取り組みです。

